



発行所
社会福祉法人
静岡県身体障害者福祉会
静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-252-7829
発行 平成23年1月31日
発行人 二橋 眞洲男
編集人 菊池 光男

第84号



新年のごあいさつ

静岡県身体障害者福祉会 会長 二橋 眞洲男

新年 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月、小林前会長が突然に体調をくずされて辞任され、思いもよらず会長職という重責を引き受けることとなりました。就任以降、福祉大会の開催など大役を無事果たすことができましたのも、ひとえに皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝しております。会長に就任して改めて現状を鑑みると、会員の減少や高齢化という多くの障害者団体をもつ課題が我が福祉会にもあります。組織の将来を左右するこの課題を克服するには大変な困難が予想されますが、古来中国では、白兔は非常に良いことのある兆し（瑞兆）とされておりますので、この1年は瑞兆を活かして、新規会員の加入促進に取り組むたいと考えておりますので、会員各位の一層のご協力を切に願うところでです。

さて、政府では障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を図るため、当事者が過半を占める障がい者制度改革推進会議を立ち上げ、同会議では昨年6月には第1次意見が、又年末には第2次意見が取りまとめとなるなど、鋭意検討を進めており、今年には障害者基本法が改正されることとなっております。

しかし、菅民主党政権は、昨年夏の参議院選の大敗の後、尖閣諸島での中国漁船衝突事件とそのビデオ映像の流出、北朝鮮の韓国延坪島砲撃事件と立続けに起こった事件への対応の不手際から、2人の閣僚の問責決議がなされるなど、まことに不安定な状態にあります。私としては、どなたが政権に就こうとも障害者が最も期待している障害者制度改革とそれに続く障害者権利条約の批准は、是非とも成し遂げてもらいたいと思っております。

ところで、今ではほとんど見かけませんが、かつて日本の多くの家庭では、正月には歳神様にお供えをして、去りし1年の無事を感謝し、新しい年の豊作や家族の健康などを祈ったものでした。正月が一つの区切りであり、無事に新年を迎えたことを喜び、「数え年」で一つ齢を重ねるといほどの意義あるものでした。

皆様にとりまして、この新しい年、より佳き1つの齢を重ねられることを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成23年 卯年によせて



身障者9団体、県に要望書提出

昨年11月16日に、県内の身体障害当事者9団体からの県への要望をとりまとめて県知事あてに提出し、併せて健康福祉部長との懇談会が行われました。

各障害者団体長が県庁に出向き、部長、部長代理、障害者支援局長、障害福祉課長など県関係者と2時間近くの懇談会が持たれました。最初に、二橋会長から要望書が石川俊一健康福祉部長に手渡され、その後、各団体長から要望事項や関連する事項などの説明をしました。各団体からは、全体で39項目に及ぶ要望が出されました。

部長との懇談会で県の障害者雇用の現状や取組み、障害者差別禁止条例についての県の考え方を聞きました。佐野局長から、「教育委員会を除いて法定雇用率は達成している、県の局内で現在非常勤として雇用している障害がある職員を来春から正規職員とする」など障害者雇用をリードする発言もありました。しかし、その一方で、差別禁止条例に関しては、当面は「全国各地での取組みの様子を見ながら検討したい、現時点では環境整備に力を注ぎたい」と、一歩踏み込んだ発言は聞かれませんでした。



要望の概要

全般事項として、①関係法令の抜本的な改革を検討している国に対して、私たちがこれまでに築いてきた成果を踏まえて法体制を整備するよう県として働きかけていただきたい。②障害のある人もない人も共に暮らし易い静岡県づくりを目指した「差別禁止条例」制定の環境づくりを進めていただきたい。③障害者雇用は一層厳しさを増しているので、障害者雇用・就労の促進を図るとともに、県をはじめとする公共団体における採用枠の一層の拡大などに努めていただきたい。④厳しい財政状況ではあるが、引き続き各団体への財政支援をはじめとする各種支援をお願いしたい、の4点を要望として提出しました。

各団体からは次のような要望が出されました。(主なもの)

- ・ 広い交差点、スクランブル交差点へのエスコートゾーンの設置 (静岡県視覚障害者協会)
- ・ 公共機関、民間会社などのお知らせチラシへのFAX番号の記入指導
県内全市町への手話通訳者配置並びに手話通訳者の労働条件改善と身分保障
(静岡県聴覚障害者協会)
- ・ 公的機関での電動車いす使用者など重度障害者雇用特別枠の設定
コミュニティバス導入に際し「車いす」でも利用できる車両導入 (静岡県車いす友の会)
- ・ 県内外の喉摘者団体の研修・勉強会の成果を発表する機会の開催 (静鈴会)
- ・ 災害時のストーマ用装備の備蓄、避難所での供給体制の確立 (オストミー協会静岡県支部)
- ・ 自転車と衝突した場合の影響に危機感を持っている、自転車利用者の意識の改革、制度の検討について関係機関への働きかけ (日本心臓ペースメーカー友の会静岡県支部)
- ・ 障害者低料金第3種郵便制度の存続と通常第3種郵便法によらない利用制度の確立
(静岡県中途失聴・難聴者協会)
- ・ 通院困難な在宅透析患者のためにホームヘルパー増員、通院介護を保障する体制の確立
(静岡県腎友会)
- ・ 来年度末に設置期限がくる視覚障害支援センター(点字図書館にH21年に設置)の継続
(静岡県身体障害者福祉会)

第52回 静岡県身体障害者福祉大会

「障害者自立支援法」から「障がい者総合福祉法」（仮称）へと、福祉サービスや自己負担の抜本的な見直しが進むなか、当面とする課題を検討し、今後の活動方針を決め障害者福祉の増進を図るため、構成団体代表300人余りの方々が集い大会が開催されました。

来賓には、静岡県副知事、県社会福祉協議会会長、県共同募金会常務理事をはじめ、県各健康福祉センター所長、静岡市身体障害者団体連合会会長を迎え、第一部表彰、第二部事業報告・大会決議・大会宣言・第三部では、SBS静岡健康管理センター所長遠山和成氏をお迎えし「健康長寿に必要なもの」と題して講演が行われました。日ごろ気を付けなければならない内容について笑いもまじえながらのすばらしい講演内容でした。

栄えある県知事褒章受章者は、市川鞆夫氏（浜松市）野田秀夫氏（焼津市）加藤朝久氏（御殿場市）の3名の方々でした。3名の方々には、静岡県副知事より賞状と記念品が授与されました。

※ 栄えある受賞者 ※			
県知事褒章	3名	特別感謝状	6名
一般社会人等感謝状贈呈者	2名 1団体	功労表彰贈呈者	4名
自立更生表彰贈呈者	23名	優良更生団体表彰贈呈者	3団体
信連賞感謝状	1名		



◆◇◆◇◆ 県知事褒章受章者 よろこびの声 ◆◇◆◇◆

浜松市 市川 鞆夫

この度は、県知事褒章を頂き誠にありがとうございました。平成2年に身体障害者福祉会に入会してからは、相談員として相談員活動を中心に活動し、平成6年からは、西部ブロックの相談員副会長・県相談員連絡協議会役員を務めさせていただきました。私の経験がすこしでも皆様のお役に立てるならと思ひ活動を続けてまいりましたが、良き相談相手になれているか、自立更生・社会参加の手助けができてきているか、現在も自問自答しながら職を務めております。これからは、若い相談員の方たちの指導にあたり育成にも力を入れていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

焼津市 野田 秀夫

この度、県知事褒章という名誉ある章を頂きましたことは、身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。

23歳の時に身体障害者福祉会と出会い、その後、39歳のころより身体障害者相談員として相談活動に従事してまいりました。就業、法律問題、結婚相談、補装具や制度に関する相談など、障害者を取り巻く問題は複雑多岐にわたります。解決困難な問題に直面することも幾度となくありました。それでも、今日まで相談員としてやってこられたのは、同じ相談員の仲間や関係機関の皆様の支えがあったからこそだと思っております。

これからも感謝の気持ちを忘れず、地域における身近な相談員であり続けられるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

御殿場市 加藤 朝久

静岡県身体障害者福祉大会において、県知事より褒状をいただきました。誠にありがとうございます。今年度、当市では「御殿場市防災時要援護者避難支援計画」が策定されました。これに基づき、身体障害者福祉会では「大規模災害発生時における避難箇所のトイレ設置状況」に関するアンケートを会員に対して実施し、結果を市に提出しました。このことにより、簡易トイレの設置に関する事など、多くの前進が見られました。

私たち障害者は、多くの出来ないことがあります。しかし、私たちにはそれを克服する「知識」があります。「知恵」があります。これからの障害者は、それらの「知識」や「知恵」を共有して"待っているのではなく動く"そのような障害者で生きたいと考えています。

大盛況!! しずおか元気応援フェア2010

健康・福祉・食をキーワードにした体験型イベント「しずおか元気応援フェア2010」が、10月9日（土）と10日（日）の2日間、ツインメッセ静岡で開催され、私たち静岡県身体障害者福祉会も参加しました。

9日は、パラリンピック金メダリストの河合純一さんのトークショーが行われ、河合さんのユーモア溢れるお話に観客の皆さんは魅了されました。また、体験ゾーンには風船大道芸人・にゃんこさんが登場。見事なバルーンアートショーに多くの方が足を止めて下さいました。



河合純一さんトークショー



バルーンアートにみんなが参加



大村副知事もセニアカーを体験

第36回 静岡県障害者文化作品展

静岡県総合社会福祉会館において、11月17日（水）～22日（月）までの6日間「第36回静岡県障害者文化作品展」が開催されました。会場には202点の個性溢れる作品が並び、訪れた人達の目を楽しませてくれました。作品「ドールハウス・ミッキーマウスストア」で工芸部門・最優秀賞に輝きました長泉町の塩澤昭江さんにお話を伺いました。

『私がドールハウスを始めてから14年になります。その間に脳梗塞になり、1年間作品製作を休みました。後遺症もあり、細かい作業は無理だと思い、このまま止めてしまおうかと思いましたが、友人・先生・家族など周りの人達の支え励ましもあり、指先のリハビリにもなると思い、作品製作を続けてきました。

作品のテーマが決まると、何度かお店に行き、どんな商品が置いてあるか、また、材料になるシールを探したりと外出する機会も増え、歩行も人の手を借りることなくできるようになりました。そして、作品も少しずつですが、増えていきました。このような立派な賞をいただき、本当に嬉しく、また、今後の励みにもなります。

この度はありがとうございました。』



第5回 静岡県身体障害者フライングディスク大会結果報告

12月5日（日）県下全域より37チーム総勢200名の選手・応援者が、会場である静岡市中央体育館に集まり、「第5回静岡県身体障害者フライングディスク大会」が行われました。

今年で5回目となる大会ですが、年々レベルが上がり、今年は、パーフェクト賞を1回以上出した方が51名、又団体でも合計得点130以上を出したチームが5チームと素晴らしい成績でした。皆さんの日ごろの成果が発揮された大会だったのではないのでしょうか。成績は、下記の通りです。

団体戦

優勝：掛川市：138 準優勝：吉田町A：135 3位：雄踏舞阪A：132

個人賞

1位 裾野市 長谷川浩 2位 静岡市B 櫻井弘治 3位 吉田町B 長谷川光男

※団体・個人共に同点は、サドンデスにより勝敗を決定



ミニ講習に熱心に聞き入る参加者

三幸協同製作所 社会見学旅行に行ってきました！

支援員 丸井 岳久

11月19日（金）に日本平コースと河口湖コースの2コースで旅行に出かけました。

「おはようございます。」毎日の利用者との挨拶なのですが、今日は特に元気があるように感じられました。旅行当日、バスの中では昨日はよく眠れなかったという人や、いつのまにか寝てしまい気が付いたときには朝になっていたと言う人もいてにぎやかな車中となりました。

天気も良く、浜松西ICでは雪化粧した富士山が見え、車中のあちらこちらから『きれいな富士山だ。』という声が聞こえてきました。見学先の日本平動物園は、形態展示から行動展示に展示方法が変更され、入場者数も増えたと新聞報道もされ楽しみにしていました。白くまロッキーの豪快に動きまわる様子にはビックリさせられ、また、アザラシが透明な筒状のトンネルを上から下に、又、下から上に泳いでいる姿に利用者からは歓声が上がっていました。昼食はエスパルスドリームプラザでお寿司を食べました。

河口湖コースは、猿まわし劇場を見学し、猿の滑稽な動きに利用者は大爆笑をしていました。昼食はおいしいほうとう鍋を食べ、両コースともそのあとは、おみやげ選びを楽しみました。天候にも恵まれ、有意義な社会見学旅行になりました。



日本平動物園で「ハイ！チーズ!!」



レッサーパンダ 見えるかな？



お猿さんと一緒にパチリ！

障害者団体の仲間たち ~活動60年をバネに、気持ちも新たに再スタート~

社団法人静岡県視覚障害者協会 会長 佐藤三四二

静岡県視覚障害者協会は、昨年11月14日に結成60周年と法人認可25周年を祝う集いを行いました。県内視覚障害者団体の中核たる自負の基、先輩達の努力の結果、今の本会があると思っています。

当会は、県からの委託事業として、指導員の訪問による在宅生活訓練を始め、途中で視覚障害になられた方のための各種相談事業を行っています。

関係諸団体と幅広く協力し取り組む中で、2009年7月、県点字図書館内に「視覚障害支援センター」を設置することができました。

さらに、グランドソフトボール、サウンドテーブルテニス、ブラインドテニスなど、視覚障害者ができるいろいろなスポーツ事業の開催や活動の支援を通して、視覚障害当事者と一般県民との交流を図るなどの活動を行っています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ

電話・FAX：054-251-8090

Eメール：sz.kn-b50@po3.across.or.jp

ホームページ：http://plaza.across.or.jp/~sz.kn-b50

ブロックだより

東部ブロック

裾野市身体障害者福祉会

平成22年度 裾野市ふれあい健康まつりに参加

日時：平成22年11月14日(日) 10:00~14:30

会場：裾野市福祉健康会館及び駐車場

内容：各種団体の活動紹介、バザー、各種相談、健康相談、体力測定、福祉体験など



みんなが幸せに生きていくことは、市民一人一人の願いです。同じ空の下に生きている仲間同士、すべての市民のみなさんが思いやりの心で健康のことについて考え、理解し、住みよい地域社会づくりをしていくために、「裾野ふれあい健康まつり」に参加しました。人気のある赤飯、炊き込みご飯は、開店から1時間足らずで完売しました。役員の皆様の団結と助け合い、更には大きなボランティア精神のお陰で大成功に終わりました。

中部ブロック

焼津市身体障害者福祉協会

焼津市身体障害者相談員研修会 福祉講演会

日時：平成22年12月9日(木) 13:30~16:00

会場：焼津市総合福祉会館 会議室

内容：講演会「障害者福祉と地域 ～共生社会実現への実践的提言～」
静岡福祉文化実践研究所 平田 厚 氏



福祉協会会員（家族）だけでなく、民生児童委員（身障児者部会）、一般市民など合わせて約60名が出席し、地域の現状やこれからの地域福祉に求められる視点についての話を聞きました。

「地域にはいろいろな人が住んでいて当たり前。いろいろな人が住んでいるということはそれだけのニーズがあり、それぞれの支援のかたちがある。それを十分に理解したうえで、地域で支え合う仕組みを作っていくことが大切である。」との講師のことばに、出席者は熱心に聞き入っている様子でした。

西部ブロック

菊川市身体障害者福祉会

防災訓練を行いました!!



いつ起こるかわからない東海地震に備え、要援護者対策は焦眉の急となっています。当会が中心となり地域の行政や消防との連携をとり訓練を行うことによって、いざという時の備えとしたい。そんな思いで今回は、菊川市消防署の職員さんに協力を得ながら防災訓練を実施しました。

煙体験では、スモークハウスに入り、火災時の避難についての疑似体験を行い、消火器体験では、消火器を使用する上での注意事項などを学びました。今後も定期的にこのような機会をつくり、いざという時にスムーズに行動できるよう訓練を続けていきたいです。



浜松ブロック

浜松市身体障害者福祉協議会

初めの一步から

文化部長 仲村 泰則

国及び市町の財源は景気停滞により、赤字にあえいでいます。第二のギリシャとなる可能性もあります。そのあおりでNPO団体等の純粋なボランティア団体も財政難となっています。

そこで今、何とか団体自身で収益事業を考え、運営費の一助となる方策を考えています。すぐに効果的な案は見つかりませんがアルミ缶の回収を実施する事となりました。現在は自治会、学校、老婦人会とあらゆる団体が行っています。遅まきながら私たち障害者団体も会員に協力を求めました。その結果、第一回目としては予想の倍となる20kgを集める事が出来ました。金額としては微々たるものですが始めることに意義があり満足のいく結果でした。"チリも積もれば財(たから)となる"純粋な協力者がいればこそ成り立つ事業だと思います。

このとき、非常に頭の下がる思いをした事があります。それは、重度障害者の方が酷暑の中、片道15km余りを汗みどろで届けてくれた事です。レジ袋に少しの量でも、私にとって汗と感謝の涙が何百kgも詰まったアルミ缶でした。

地上デジタルテレビ放送のご案内

地デジの準備、お早めに!!

2011年7月24日、アナログ放送は見られなくなります。

地上デジタル放送は、より高品質な映像と音声を受信することができる新たな放送です。

障害者にもやさしいサービスが充実!

字幕放送が楽しめます! ～セリフやコメントを文字テロップで表示します～
解説放送も楽しめます! ～場面ごとの情景や登場人物の所作などを音声で解説します～
音声速度も変えられます! ～語速変換装置を内蔵した機種も登場～
便利なデータ放送! ～いつでも、ニュースや天気予報などの情報が見られます～



聴覚障害者には「アイドラゴン3」の利用がオススメ

「アイドラゴン3」は、「目で聴くテレビ」の専用受信機ですが、地上デジタル放送のチューナーも内蔵していますので、今あるアナログテレビでも地デジを見ることが可能になります。

4つのOK!

- ①地デジOK! ②地デジでリアルタイム字幕・手話OK!
 ③緊急災害時もリアルタイム字幕・手話で安心OK! ④「目で聴くテレビ」受信OK!

※詳しくは、お住まいの市町の福祉窓口にお問い合わせください。

視覚障害者の方には、「しゃべるテレビ」が便利

画面に表示される電子番組表などを、合成音声で読み上げるテレビがあります。

地デジ体験なら静岡県視覚障害支援センターにおまかせ

地デジ体験につきましては、ぜひ静岡県総合社会福祉会館(シズウェル)2階、視覚障害支援センター(点字図書館内)までお越しください。音声番組表対応・しゃべるテレビを操作していただけます。このテレビは大手家電メーカー製ですので、もちろんどなたでもご利用できる機種です。各地域で企画していただければ、出前講座も行います。どうぞお気軽にお電話ください。予約をお願いしています(電話:054-253-8180)。

地デジ全般に関するお問い合わせは、総務省・地デジコールセンターまでどうぞ
 電話 0570-07-0101 FAX 0570-00-1770

文藝

俳句

白雪の富士を仰ぎて 藤父かな

富士宮市 望月 一義

夢進いし 盟友亡き郷や 萩の雨

浜松市 白川 一彦

短歌

どうにでも なれよと思ふ 日もあるが

試練と受けて 歩みてゆかん

河津町 中村 保則

障害を 持つ身になって 三十年

家族と友の 支えが在りて

富士宮市 望月 一義

川柳

取っ組んで 小沢 小枝で 逃げ続け

富士宮市 稲葉 定吉

今号は、東部地区の皆さんにご協力を
をいただき、ありがとうございます。

次号は、他の地域の皆さんも奮ってご
投稿お待ちしております。



福祉会のホームページに「入会案内」ページができました!

県身体障害者福祉会では1年半ほど前からホームページを開設し、より多くの方の目に留まるような内容にするべく試行錯誤をしながら作成してきました。

そのホームページで昨年11月から「入会案内」ページを追加しました。「入会案内」ページでは各市町の福祉会事務局の連絡先や活動報告などを掲載し、会員の皆さん、福祉会への入会を考えている方、福祉会を始めて知った方達などに広く情報提供をしていきたいと考えています。

そこで、地域や福祉会で様々な活動をされている皆さんからの投稿記事を募集しています。

お寄せいただいた記事についてはホームページに随時掲載していきます。

記事と合わせて写真なども提供していただくと様子などがより分かりやすくなる為是非お願いします。

ホームページを見る方法

1. アドレスを入力する
<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/>
2. 検索サイトを利用する
「Yahoo!JAPAN」「goo」「Google」などのサイトで「静岡県身体障害者福祉会」と入力して検索する



ホームページに関する
お問合せ先

静岡県身体障害者福祉会 担当：鈴木
TEL：054-252-7829 FAX：054-255-2011

静身会報に皆さんの声を載せませんか？

短歌・俳句・川柳はもちろん地域でのさまざまな活動や取組みについての投稿をお待ちしています。

多数投稿の場合は選定させていただきます。点訳するため必ず漢字にはふりがなをお願いします。

FAX・メール・郵送で受け付けています。次回の投稿締切は6月15日(水)です。

<送付先>静岡県身体障害者福祉会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内
TEL：054-252-7829 FAX：054-255-2011 E-mail：syougaisya@za.tnc.ne.jp